

きゃらばん

日本全国 能楽キャラバン! in 広島

令和 4年 1月18日(火) 16:30 開場 17:00 開演

JMSアステールプラザ能舞台(中ホール)

料金 全席指定 (稅込)

S席 ¥8,000 / A席 ¥7,000 / B席 ¥6,000 / C席(2階席) ¥5,000 前売開始 令和3年 12月1日(水)

- ・公演に関するお問合せ:公益財団法人十四世六平太記念財団 Tel. 03-3491-8813 (10:00 ~ 18:00 休館日あり)
- ・チケットに関するお問合せ:中国新聞企画サービス Tel. 082-236-2244 (平日9:30~17:30)
- ・公演詳細:日本全国 能楽キャラバン!特設サイト▶ https://www.nohgaku.or.jp/caravan2021

主催:公益社団法人能楽協会·公益財団法人十四世六平太記念財団·中国新聞社協力:広島喜多会



て化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業

チケット予約購入のご案内

- 電話予約・店頭販売
 - ·中国新聞読者広報部 Tel. 082-236-2455 (平日9:30~18:00)
- 店頭販売
 - ・中国新聞販売所(取り寄せ)
 - ・セブン-イレブン
 - ・ローソン (Lコード:62466)
 - ・エディオン広島本店プレイガイド
- インターネット
 - ・セブン-イレブン http://7ticket.jp/s/092393
 - ・ローソン (Lコード: 62466) https://l-tike.com/contact/

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
※ご予約、ご購入いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

観客席御案内

 S席
 8,000円
 A席
 7,000円

 B席
 6,000円
 C席(2階層)
 5,000円



会場案内図



JMSアステールプラザ能舞台(中ホール)

〒730-0812 広島市中区加古町 4-17 Tel: 082-244-8000 ホームページ http://h-culture.jp/



●JR広島駅からの交通手段

・市内電車利用の場合 広島港行(紙屋町経由) - 市役所前下車(600m) 江波行-舟入町下車(400m)

・バス利用の場合 広島バス 24号路線

広島バス と45 店線 吉島営業所行または吉島病院行 - 加古町下車(200m)

・タクシー利用の場合 約15分

で注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- · 客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断 りいたします。
- ・当面のあいだ水分補給を除き、飲食はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・JMSアステールプラザは全館禁煙です。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失について の責任は負いかねます。
- 係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

本公演は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などが定めるガイドライン、また広島市主催のイベント等の開催に関する基本方針を踏まえ対策を施しております。

で自身の身近に新型コロナウィルスに感染した方、またはその可能性がある 方がいらっしゃるお客様のご入場はお断りいたします。

ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。

会場入り口で手指の消毒、検温を実施させていただきます。

体温が 37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご入場はお断りさせていただくことがございます。



日本全国 能楽キャラバン! 広島

初春広島能楽特別公演 四令年和 開場 十六時三十分 一月十八日(火) 開演 十七時

(観世流)

シテッレ・天女林宗一郎 前シテ・老翁 井上 裕久後シテ・山神 井上 裕久 吉田 篤史

老 水波之伝 ワキッレ・従者 舘田 善博 ワキ・勅使 森 常好

> 横山 幸彦 笛 左 井 鴻 上 泰弘 敬介

ワキッレ・従者 梅村 昌功

地謡 橋大樹 本江下 光泰千史正慧 壽晃 拓貴和保司弘忠浩

養 大江又三郎 杉浦 豊彦

休憩 (十分)

言 (和泉流)

シテ・すっぱ野村 万禄 アド・田舎の者 吉住

仏

^{後見} 上杉 啓太

能 (喜多流)

休憩 (二十分)

シテツレ・安田友春の妻 子方·花若 大島 伊織 留友春の妻 佐々木多門

シテ・小沢友房 粟谷 明生

望

ワキ・望月秋長 宝生 欣哉

《横山 幸彦 太鼓 吉谷 左鴻 泰弘 潔

アイ・望月の従者 野村 万禄

^餐 中村 邦生 髙林 呻二

地謡 大島 輝大島 輝久 東世 大島 輝大田 成信 長出大粟島雲村谷 康 充 茂雅 定 雄

解説

能「養 老」(ようろう)

のものであるという神仏観を表した演出です。 舞う展開となります。神と仏は、水と波のように本来は一体 観音) が登場し天女ノ舞を舞った後に後シテ (山神)が神舞を 今回は「水波之伝 (すいはのでん)」 という小書 (特別演出) 付 御代を祝福して颯爽と舞を舞って神の国に帰っていきます。 らぬ様子となります。やがて養老の山神が現れると平和な に天から光がさし音楽とともに花が降ってきて辺りは只な 携えて帝に奏聞しようと都に向かいかかると不思議なこと 徳を讃えて帝に捧げようと水を汲みます。勅使は薬の水を とのこと。そして老人と若者は勅使を泉に案内し薬の水の なったことからこの泉の湧く滝が養老の滝と名付けられた母に飲ませたところ二人は見違えるように若々しく元気に るほどに爽やかだったことに感激し、水を汲んで持ち帰り父 けてその水を飲んだところ、さながら仙家の薬水かと思われ ります。ある日若者が薪採りの帰り道に滝近くの泉を見つ 樵人が来かかり問われるままに二人は滝の名のいわれを語 されます。一行が養老の滝のほとりに着くと老人と若者の 出たというので帝の命を受けた勅使がそれを確かめに遣わ 美濃の国(岐阜県)本巣郡にある養老の滝近くに霊泉が湧き 演です。この小書が付くと通常では出ない後ツレ(楊柳

狂言「仏師」(ぶっし)

つけたすっぱ(騙り者)が親切めかして声をかけ、田舎者が仏買いに都にやってきます。 広い都に迷っている田舎者を見 う最後はなりすましを見破られてしまいます。 びにすっぱは仏師と仏像に早変わりを繰り返した末、とうと とすっぱは慌てて現れます。何度も印相を手直しさせるた どうも気に入りません。手直ししてもらおうと仏師を呼ぶ 自ら仏像になりすまして田舎者を待っていると訪ねて来た から仏像を作って明日渡そうと約束します。翌日すっぱは 像を求めていることを知ると自分は仏師だと嘘をつき、これ 田舎者が自宅に持仏堂を建立したのでそこに納める仏像を 田舎者は出来上がった仏像の印相(仏像の印を結んだ形)が

能「望月」(もちづき)

を成し遂げます。敵討ちの手段として芸尽くしを見せる能居眠った隙を狙って友春と花若は積年の恨みを晴らし本望 ています。 ずるのが趣向。特に獅子舞のあることで重い習い物とされで、クセを地謡、鞨鼓を子方、獅子をシテと三人三様の芸を演 若に八撥を打たせ、自らも獅子舞を舞います。そして望月が に仕立てて花若とともに座敷に出し、母に曲舞を謡わせ、花 にくわぬ顔で望月を歓待します。そして花若の母を盲御前 そこで友房は今宵こそは仇を討たねばならぬと心に定め、な の悪戯か、秋長は花若達と同日に甲屋に泊まり合わせます。 が晴れて自由の身となり、本国信濃へと向かいます。運命 妻と花若と気づき、自ら名乗って再会を喜びます。一方、望 甲屋に泊まることになります。友房は一目見て主君、友春の を出た友春の一子花若と友春の妻が守山の宿にたどりつき 暮らしています。そこに夫が討たれた後、寄るべもなく故郷 出来ず、近江国(滋賀県)の守山の宿で甲屋という宿を設けて と口論の末殺害されたことを聞きます。直ちに帰国の途に 部友房は、所用があって都にいる間に主人の友春が望月秋長 信濃の国(長野県)の住人で安田の荘司友春の家臣、小沢の刑 月秋長は友春を殺した罪で長年都に留め置かれていました ついたものの、自らの命も狙われていることを耳にし帰国も